

令和4年度 高知県農業農村整備事業計画審査会 (委員からの意見)

審査期間 : 令和4年10月4日(火)～令和4年10月28日(金)  
審査方法 : 書面審査  
審査委員 : 農業振興部 副部長(総括) 土居内 淳一  
農業政策課長 橋本 卓夫  
農業担い手支援課長 武井 久  
環境農業推進課長 青木 敏純  
農業イノベーション推進課長 千光士 啓

高知県青年農業士連絡協議会会長 宮崎 武士  
高知市東部土地改良区 理事長 大野 哲  
株式会社南国スタイル 代表取締役専務 中村 文隆  
高知大学農林海洋科学部 教授 佐藤 周之

令和5年度新規地区

(1) 【審査】北川2期地区農地中間管理機構関連農地整備事業(県営)

---

【地区名】	北川2期
【市町村名】	北川村
【事業概要】	区画整理(6.1ha)
【事業費】	245,000千円
【負担割合】	(国)62.5% (県)27.5% (村)10.0% (地元)0%

[説明者:農業基盤課(整備事業担当)]

---

【新規要望理由説明(事務局)】

- ・県内でも有数のユズの産地であるが、狭小な農地が多く機械化が進まない。
- ・農業従事者の高齢化が進む中、新たな担い手の育成がされていない。
- ・ユズの需要に見合うだけの供給(生産)が追いついていない。
- ・本事業により生産基盤を整備し、担い手への農地集積と併せて、新規就農者などの移住促進環境整備を行い、地域農業の維持・発展を図る。

【審査に対する意見】

(委員)

担い手への農地集積率について、現状は何パーセントですか。

(事務局)

現状は3%で、R14年には89%を目標としています。

(委員)

B/Cの計算はどのようにしているのですか。

(事務局)

反収アップや栽培面積の増加による作物の生産効果と整備によって大型機械の導入が可能となる等の営農経費節減効果を主に算定しています。

(委員)

ユズの収穫量は、工事後にどれだけ増加するのですか。

(事務局)

現状10a当たり1.1tの収量が、工事後は1.4tを見込んだ計画としています。

令和5年度新規地区

(2)【審査】波介地区農業競争力強化農地整備事業(県営)

---

【地区名】	波介
【市町村名】	土佐市
【事業概要】	区画整理(33.1ha)
【事業費】	930,000千円
【負担割合】	(国)50% (県)35% (市)10% (地元)5%

[説明者：農業基盤課(整備事業担当)]

---

**【新規要望理由説明(事務局)】**

- ・区画が狭小・不整形のため、作業効率が悪く、担い手の規模拡大が図れない。
- ・水路は老朽化により漏水し、また、道路が狭隘のため、大型機械の導入が進まない。
- ・農業従事者の高齢化が深刻であり、担い手への集積が必要である。
- ・低平地の湿地地帯のため、水稻栽培が主体であり、畑作が進まない。
- ・本事業により生産基盤を整備し、担い手への農地集積及び高収益作物の規模拡大を図る。

**【審査に対する意見】**

(委員)

田んぼダムを整備するにあたり、特別な工事は必要ですか。

(事務局)

貯水量を確保するため、通常よりも15cm程度高い堰板を設置する必要があります。

これまで、高知県では田んぼダムの取組に向けた整備は行っていませんが、田んぼダムの取組は、河川のピーク流量を減らすなど一定の効果は期待されています。

(委員)

施設園芸エリアの嵩上げはどの程度ですか。

(事務局)

平均的には約 70cm 程度の嵩上げを行う計画です。

(委員)

現状、用水は波介川から取水していると思われませんが、工事後の取水計画はどのようになっていますか。

(事務局)

工事後は井戸を掘り、ポンプアップした地下水をパイプラインで送水する計画です。

令和 5 年度新規地区

(3) 【審査】佐川地区農業競争力強化農地整備事業（県営）

---

【地区名】	佐川
【市町村名】	佐川町
【事業概要】	区画整理（27.0ha）
【事業費】	750,000 千円
【負担割合】	（国）50% （県）35% （町）10% （地元）5%

[説明者：農業基盤課（整備事業担当）]

---

**【新規要望理由説明（事務局）】**

- ・区画が狭小、不整形のため、作業効率が悪く、担い手の確保が困難である。
- ・水路は老朽化により漏水し、また、道路が狭いため、機械の大型化が困難である。
- ・農業従事者の高齢化が深刻であり、担い手への集積が必要である。
- ・本事業により生産基盤を整備し、担い手への農地集積及び高収益作物の規模拡大を図る。

**【審査に対する意見】**

(委員)

集積状況の確認はどのようにするのですか。

(事務局)

集積率については、国への報告義務があるため、毎年集積状況を確認し報告しています。

**【報告に対する意見】**

**【白岩地区】**

(委員)

耕作条件改善事業は、B/Cの算定はしないのですか。

(事務局)

B/Cの算定は不要ですが、集積が条件となっています。

**【池ノ内第二地区】**

(委員)

排水機場の管理者は誰ですか。

(事務局)

管理者は須崎市です。

(委員)

新設する場合と補修する場合の工事費の比較は行っていますか。

(事務局)

工事費の比較を行っており、補修する場合が安価との結果が出ています。

**【香美市2期地区】**

(委員)

ため池のB/Cの算定はどのように行うのですか。

(事務局)

被害想定エリアの作物被害、道路・家屋等の復旧費用等から効果を算定しています。

(委員)

ため池改修については、優先順位をつけているのですか。

(事務局)

県で改修するため池の優先順位を設け、市町村と協議しながら実施するため池を決定しています。